

「川下地区まちづくり計画」の見直しに向けた取り組みを始めました！



平成22年に「川下地区まちづくり計画」を策定し、岩国市に提出してからもうすぐ10年になります。道路や下水道等の基盤整備や協議会によるまちづくり活動が進む中、川下地区を取り巻く状況も変化してきています。

そこで、川下地区まちづくり協議会が主体となり、岩国市及び専門家によるサポートを受けながら、新たな課題を洗い出し計画を“更新”することで、新たな10年に向けたまちづくり計画を整え、令和3年度を目標に市に提出しようと考えています。令和元年度は、計画の見直し作業に向けて、2回の意見交換会を開催しました。その主な内容をご紹介します。 ※「川下まちづくり計画」は協議会ホームページでご覧いただけます。ぜひ一度、ご覧ください。

第1回意見交換会の開催

日時：令和元年12月11日（水）

18：00～19：30

場所：岩国市川下防災備蓄センター
多目的室

テーマ

- ① 協議会設立の経緯と「川下まちづくり計画」の役割について
- ② 「川下まちづくり計画」とは
- ③ 意見交換
 - ・計画ができて10年。川下のまちの環境で変わったこと、変わらないことについて語ろう！

多くの会員から活発に意見がでました。



道路

- ・幹線道路の整備がとても早く進んでいる。
- ・防災に役立つ道路を位置づけたが、実現に向けた課題も多く、なかなか進んでいかない。
- ・狭あい道路の解消は少しずつ進んでいるところとなかなか進まないところがある。等

環境

- ・護岸を広げ桜並木がなくなったが、道路が使いやすくなった。
- ・楠広場は人が集まる場になったが、鳥害の問題への対策が必要になっている。等

住宅

- ・住宅開発が増えた。地区の利便性が上がっている評価を受けている。一方で空き家も増えた。等

その他

- ・商業施設が増え、開発業者も土地を探している。
- ・下水道事業が始まった。
- ・見守りをする人が少なくなってきた。等



まずは八木会長からご挨拶



協議会の設立の経緯や川下まちづくり計画の内容を改めてみんなで振りかえり

第2回意見交換会の開催

日時: 令和2年2月3日(月)

18:00 ~ 19:30

場所: 岩国市川下防災備蓄センター
多目的室

テーマ

① 計画策定後の事業等の進捗状況の確認

② 意見交換

- ・グループに分かれて「川下まちづくり計画」の方針を1つずつ確認しながら内容について、見直しが必要か等についてチェックしましょう!



事業進捗図を確認しつつ意見交換



平成22年に策定した「川下まちづくり計画」の4つの大きな方針ごとに「現状と課題」を話し合いました。主な意見をご紹介します。

方針1 快適に住み続けられる住宅地に改善する

○身近な公園について

- ・使われていない公園や公園へのアクセス道路で改善が必要なところがある。
- ・トイレ等、防災上で必要となる施設の整備ができていない公園があり改善が必要である。

○住環境について

- ・歩いて心地よい安全な路地にするため、地震などで倒れそうなブロック塀への対策を考えたい。
- ・下水道や水路を整備・改善する計画をはやくすすめてほしい。

○供用会館について

- ・川下出張所の駐車場の確保や複数の施設の一体化等、川下供用会館の見直しが必要である。

方針2 快適で安全に暮らすために道路・交通環境を改善する

○主要な幹線道路について

- ・楠中津線や昭和町藤生線の延伸整備が必要である。

○主要な生活道路について

- ・緊急車両の通行や、避難道路となる道路での歩道の整備等、防災上、大事な路線の拡幅整備を進める仕組みを考えていく必要がある。

○生活道路の改善について

- ・狭あい道路を解消できる事業の制度をもっと広く周知する必要がある。

方針3 多くの人交流できる場を整備する

○中央公園(楠広場周辺)について

- ・楠中央公園と混乱する名前で、未整備なのであれば整備を進めていく必要がある。
- ・楠を起点に景観の整備を行い、にぎわいの場所を作るなどを考えたい。

○防災について

- ・水害等を考えると、防災上の観点から、川下地区の拠点となる施設を考える必要がある。

○緑化・自然について

- ・幹線道路の植栽については、区内の人だけではなく、まち全体で世話をしていく仕組みを考える必要がある。

○商店街や有休地の利活用について

- ・にぎわいや交流の場づくりは、商店の立地状況も変化しているので、実現に向けた方策の見直しが必要である。

方針4 住民同士で協力しながら主体的に活動する

○協議会の活動について

- ・より多くの人、多世代の人に活動を知ってもらい、参加できる場づくりが必要である。
- ・地区の防災組織の充実・活動を考えていく必要がある。
- ・河川一斉清掃の取組を再開したい。

○交流する場づくりについて

- ・介護予防いきいきサロン等の開設も考えてみるのもよい。